

④ 学校課題の明確化

教育目標	学校課題	望まれる生徒の行動
進 学 習 で す る 生 徒	<ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで学習計画をたて、目標をもって主体的に学習に取り組む生徒を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画のたて方がわかって学習計画をたてる。 自分一人で学習計画をたてる。 互いに協力して学習計画をたてる。 目標を正しくつかんで、自分で学習を進める。 学習の過程で、目標を互いに確認しあいながら、協力して学習を進める。 自分の長所・短所を理解して進路を自分で決める。 自分の進路に目標をもって、自主的に学習に取り組む。

⑤ 教育目標の設定

	重点目標	学年目標		学級目標	
		1	2	A	B
進 ん で 学 習 す る 生 徒	<ul style="list-style-type: none"> 計画をたて学習に取り組む。 	1	計画をたて学習に取り組む生徒。	A	協力して学習計画をたて真剣に学習
				B	自分で学習計画をたて真剣に学習
	<ul style="list-style-type: none"> 目標をもって学習に励む。 	2	目標をもち、学習に励む生徒。	A	目標を正しくつかんで、自分で学習
				B	目標を確認し合いながら協力して学習
	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解に基づき、希望をもって進路の実現に努める。 	3	自己理解をして、進路の実現に努める生徒。	A	自分の進路の自己決定と学習への努力
				B	自分の進路を目指して自主的に学習

(4) むすび

教育目標の設定にあたっては、地域性を十分に検討して、学校課題という形でその内容を適正に盛り込むことが必要であることは前述した通りである。そして、“わが校の教育目標”と言えるような、独自性のあるものとするのが望まれる。

この事例は、教育目標の構造的な理解に立ちながら、設定の手順を示したものであるが、各校の実

状に即してこの考え方は活用できると思われる。

また、教育目標の具現は、最終的には学級の授業を中心とした諸活動に負う面が多いわけであるから、学級目標の吟味こそ最重要であり、学級の個性とか特徴を十分理解したうえで、重点目標との関連で設定された学年目標を、学級目標にどう構造的に位置づけるかを熟慮することが望まれる。